

## AI時代の教育学会 2024（令和6）年度事業計画

1. 学術論文誌の発行と会員の作成した論文の審査  
原則年2回論文誌をWebで発刊し、学会員の学術論文作成を促進すると共に、編集委員会と査読委員により会員の作成した論文を審査する。  
素早い論文査読を行うため、2名の査読者が2カ月以内に採否判定を行う。
2. 全国大会の開催  
全国の学校の教員を主な対象として、年1回夏期に全国大会、セミナー等を実施する。本年度は9月28日金沢星稜大学で開催する。
3. 研究会、委員会、専門研究グループ等の開催
  - (1) 年2回「研究会」を開催する。本年度1回目を6月に開催する。2回目を2月～3月に開催する。
  - (2) 定例の編集、年次大会、研究会、広報・企画の各委員会に加え「コンピュータサイエンス」、「生涯知能教育」、「デジタル教科書」や「未来探究」専門研究グループ(SIG)のSIG委員会でAI時代の教育に関する諸課題（政策検討、AI倫理、情報教育など）についての調査研究を原則Zoom会議形式で行う。
4. 会員に対する情報提供  
会員に対する情報提供のため、正会員に対して年6回公益財団法人学習情報センター発行の「学習情報研究」誌を割引購入し配布する。
5. ニュースレター及び図書の発行と販売  
年6回公益財団法人学習情報研究センター発行の「学習情報研究」誌に、学術論文（抄録等）、実践研究報告や学会からの連絡事項（論文執筆要領）などを掲載する。メルマガによるニュースレターの発信や、図書の発行を適宜実施する。
6. 国内及び国外の関係学会・機関・団体等との研究交流  
国内及び国外の関係学会・機関・団体等からなる相互会員を募り、連絡及び協力を図る。
7. その他  
AI時代の教育研究に関し必要と認められる事業を行う。

以上

## AI時代の教育学会 2024(令和6)年度収支予算書

< 収 入 >

(単位:円)

	予算額(A)	前年度予算(B)	増減	備考
賛助会費	1,860,000	1,860,000	0	Google120万円、東京書籍3万円 株式会社ラック9万円、ネットラーニング30万円 理想教育財団6万円、キャンドルウィック3万円、富士通3万円、大日本図書3万円、スズキ教育ソフト3万円、光村図書出版3万円、ビズアップ総研3万円
学会員会費	800,000	800,000	0	現状の正会員6,000円 119名 学生会員3,000円 14名 増えることを見越して計上
合計	2,660,000	2,660,000	0	

< 支 出 >

	予算額(A)	前年度予算(B)	増減	備考
論文誌発刊費	10,000	30,000	-20,000	
年次大会・総会	230,000	200,000	30,000	
研究会費用	100,000	60,000	40,000	
専門研究グループ(SIG)費用	200,000	250,000	-50,000	5万円×4(コンピュータサイエンス、生涯 知能教育、デジタル教科書、未来探究)
理事会	15,000	15,000	0	
学情誌購入配布	714,000	800,000	-86,000	2024.02現在正会員数119名分
Webページメンテナンス等	165,000	130,000	35,000	WEBメンテナンス費、zoom契約料
学会事務局運営費(人件費、校正費他)	1,000,000	1,000,000	0	人件費792,000(@1,500×2h×22日 ×12ヶ月) 論文編集36,000、通信・ Webドメイン管理・Zoom契約料60,000、 雑費112,000
合計	2,434,000	2,485,000	-51,000	

< 収支差額 >

	予算額(A)	前年度予算(B)	差額(A-B)	備考
当期収支差額	226,000	175,000	51,000	
前年度繰越金	4,075,000	3,900,000	175,000	
次年度繰越金	4,301,000	4,075,000	226,000	